



名古屋工業大学大学院  
工学研究科産業戦略工学専攻/  
情報工学科准教授

## 伊藤 孝行氏

# オーブン カレッジ

マルチエージェントシステムにおけるメカニズムデザイン理論の中で、特に興味深いのは、「正直な申告が最良」

.....  
いとつ たかゆき 情報工  
学、知能情報学、マルチエ  
ジェントシステム。2000  
年名古屋工業大学博士後期課  
程・博士（工学）。1972  
年生まれ。

になるようなルールや制度が  
「望ましい」といわれること  
です。つまり、オークション  
（商取引）や投票などにおい  
て、「他の人がどんな申告を  
しようが、自分は自分の持つ

## マルチエージェントシステムによる 新しい社会システムの創造（下）

価値や好みをそのまま正直に  
申告することが最も良い方法  
である」と、ということが保証  
されます。とても浮世離れし  
た話に思えるかもしれませ  
ん。  
るオークションであり、世  
界で最も頻繁に実行されるオ  
ークションと言われているま  
す。正直に申告することが最  
良ですから、虚偽の申告を企  
てたり、実行したりする必要

## 交通渋滞対策に応用

がなく、メカニズム全体とし  
ては大変安定したものとなる  
のです。  
方法として、オークションの  
方法や模範した方法として、  
各車両の10分後の予定を各車  
両の希望と捉え、予定に基づ  
ては、交通渋滞緩和の新しい  
方法です。その他にも、スマー  
トグ

今我々が取り組んでいる内  
閣府最先端・次世代研究開発  
支援プログラムの「環境社会  
最適化シミュレーションを可  
能にする社会最適化アルゴリ  
ズム創出とその応用」という  
プロジェクトでは、メカニズ  
ムデザイン理論を使った新し  
い社会システムの設計、その  
マルチエージェントシミュレ  
ーションによる評価、および  
具体的な応用アプリケーション  
の試作を行っています。例  
えば、交通渋滞緩和の新しい  
方法として、オークションの  
方法や模範した方法として、  
各車両の10分後の予定を各車  
両の希望と捉え、予定に基づ  
ては、交通渋滞緩和の新しい  
方法です。その他にも、スマー  
トグ

現在様々な条件や外部要因  
を追加したマルチエージェン  
トシステムに関して、同様のア  
プローチを進めています。

